

6 軒天

6-3 納まり詳細図

6) 軒天12トリスタ(軒天通気見切縁BM3)標準施工法 QF030RS-0348-1

30分準耐火構造適合品/日本化学産業(株)社製BM3

※軒天12トリスタ以外の軒天材には認定が適用できません。

※軒天通気見切縁本体に塗装を施した場合は認定が適用できません。

BM3に関してのお問い合わせは下記へお願いします。

日本化学産業株式会社 建材本部 住宅建材グループ

TEL:048-931-0252

大阪支店 建材営業課

TEL:06-6910-2030

名古屋支店 建材営業課

TEL:052-715-7603

●下地組み

野縁平行組:軒の出方向は500mm以下の間隔で野縁(幅:40×高さ:30mm以上)を組みます。(軒先には不要)

野縁を直接垂木に留め付けない場合は、軒の出が500mmを超える場合、軒の出@500mm以下に吊り木(吊り木@1000mm以下)で吊ります。鼻隠し下地:厚みを30mmとし、高さを115mm以上としてください。

●下地の不陸は3mm以下に調整します。

※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。

●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。

●軒天材の留め付けは専用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×45mm)を用い、軒の幅方向は225mm以下の間隔(910幅に5本留め)で留め付けます。軒の出方向は野縁ごとに留め付けます。

●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20~35mmとします。

●軒天支持金具を鼻隠し下地に専用タッピングネジ(別売)で取り付け後、軒天材を取り付けます。

●軒天支持金具は@455mm以下かつ軒天材の接合部に取り付けます。

●軒天材施工後、軒天支持クリップを軒天支持金具に差し込み軒天材を固定し、BM3を専用のタッピングネジ(別売)で取り付けます。BM3は所定寸法に切断し、切断部は同色の補修液(別売)を塗布します。

●出隅カバー等は、BM3本体の片側にカバーを差し込むように嵌合させ、BM3本体を鼻隠し下地にビス留めし、もう片方のBM3本体をカバーに差し込むように嵌合させ、鼻隠し下地にビス留めします。

※塩害のおそれのある場所では、塩害地域仕様をご使用ください。

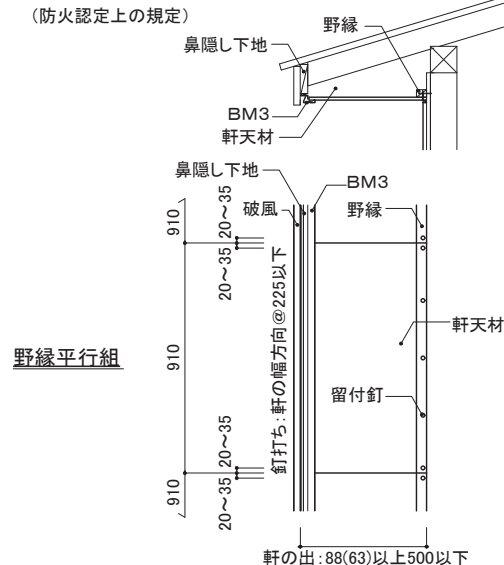
※片流れ屋根の水上側など、逆勾配の軒天への使用はしないでください。

※軒天材を張り替える場合、鼻隠し(破風)を取り外す等の工事が必要となります。

軒の出が88(壁勝ち)~500mm以下の場合

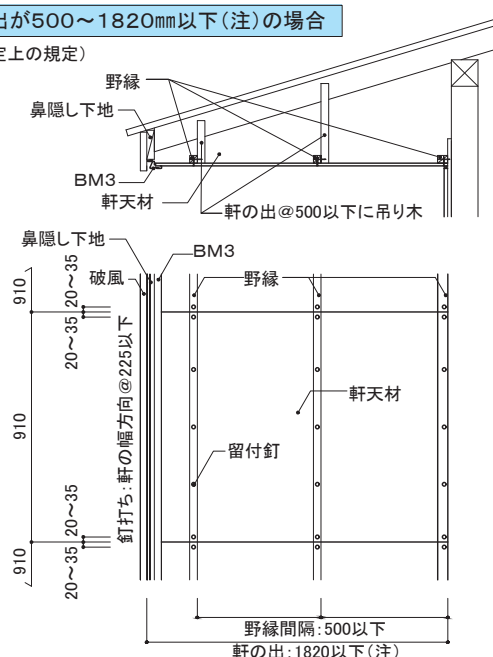
軒の出が63(軒勝ち)~500mm以下の場合

(防火認定上の規定)



軒の出が500~1820mm以下(注)の場合

(防火認定上の規定)



(注)認定は最大寸法で取得しておりますが、製品寸法により上限値は1820mmとなります。